

サーキットイベント**S 耐第3戦 富士 SUPER TEC
24 時間レースに会員 10 社が出展**

5月31日～6月2日／富士スピードウェイ

「ピレリスーパー耐久シリーズ2019 第3戦 富士 SUPER TEC 24 時間レース」(5月31日～6月2日)に、当振興会の会員 10 社が出展致しました。

富士 SUPER TEC は、昨年に引き続き開催された 24 時間耐久レース。24 時間を走りきるマシンやドライバー、それを支えるスタッフ、そしてそれぞれのスタイルで楽しみながらもレースの行方を見守る観客が一体となった、充実感のあるサーキットイベントとして評価されています。

今年は、スタート前に行われたスーパー耐久ピレリクラシックチャレンジで、先導車としてモリゾー選手(豊田章男社長)がトヨタ 2000GT ボンドカーをドライブする等、例年以上の盛り上がりを見せました。



阿部商会



E.R. コーポレーション



エイチ・ピー・アイ



エンドレスアドバンス

また、メインスタンド後方のイベント広場に設けられた体感・展示スペースには、当振興会より阿部商会、E.R. コーポレーション、エイチ・ピー・アイ、エンドレスアドバンス、小倉クラッチ、TONE、PIAA、藤壺技研工業、ブリッド、レイズが出展し、こちらも長時間にわたり最新のカスタマイズパーツやデモカーのPRを行いました。



小倉クラッチ



TONE



PIAA



藤壺技研工業



ブリッド



レイズ

自動車技術イベント**「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展
2019 横浜」に会員 3 社が出展**

5月22日～24日の3日間にわたり開催された「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜」に、当振興会の会員である戸田レーシングの他、日本自動車レース工業会内にイケヤフォーミュラ、ブリッドが出展致しました。

今年の同イベントは「革新的社会インフラと融合した“くるま”進化の方向性」をサブテーマに開催。当振興会の各出展会員では、開発製品や最新の技術を来場者に精力的にアピールしました。

